

す く す く 通 信 第3号

「無洗米JAなす南栃木県産こしひかり新登場記念 田植え泥んこキャンペーン」に当選された皆様に、5月28日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後85日目様子です）



8月も終わりに近づき、秋の表情が垣間見える季節になりました。県内各地の田んぼでは稲穂の存在感が増し、風に揺れる稲の姿は美しい田園風景を創り出します。食のための米作りはもちろん、その過程が生み出す豊かな景観は、日本の大切な文化なのではないでしょうか？

深い緑だった田んぼはいつの間にか色を変化させ、秋の入り口を感じさせる淡い緑で一面を彩ります。この変化を見ると米作りの趣深さを感じますね♪



暑さが続いた8月。稲にとっては生長のラストスパートです。8月上旬に約80cmだった稲は約1mまで生長し、稲穂も大きく膨らんできています♪

栃木の夏の風物詩、雷。今年もその轟音が鳴り響き、大地に雨が降り注ぎます。第2号でお伝えした雷の効果が、稲の生長を後押ししています♪



台風9号の大雨・暴風により、栃木県内の農産物には少なからず被害が出ています。暑い夏の雨は稲にとって恵みとなる一方で、今回のような暴風雨は大きな被害をもたらしてしまいます。

ただ左の写真をご覧ください。稲は台風の威力にも負けず、倒れることなく耐えています！ 特段被害はなく、何事も無かったように佇む姿は頼もしい限りです♪